

# 市政を問う



6月定例会議では、13人の議員が市政全般にわたり一般質問を行いました。  
各質問は録画をご覧ください。また、議事録は香美市ホームページに掲載します。

| 質問議員  | 質問事項                                                                                                                                                                                   | 質問議員  | 質問事項                                                                                                                                                        |
|-------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 森田 雄介 | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学生とのまちづくり</li> <li>2. 教育支援センターでの給食の実施</li> <li>3. 農地あっせん</li> <li>4. 共働き・共育での取り組み</li> <li>5. 住宅政策の進め方</li> </ol>                            | 村田 珠美 | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 地区公民館</li> <li>2. 小学校の水泳授業</li> <li>3. 生涯学習フォーラム</li> </ol>                                                       |
| 有光 収三 | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 香美市立図書館香北分館</li> <li>2. 災害対応</li> <li>3. 農業振興</li> </ol>                                                                                     | 山崎 眞幹 | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 行政改革</li> <li>2. 奥物部ふるさと物産館</li> <li>3. JR土佐山田駅周辺まちづくり基本構想</li> <li>4. 提案説明</li> </ol>                            |
| 中平 麻衣 | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 不登校児童・生徒の学ぶ機会の担保</li> <li>2. 児童・生徒の居場所についての情報提供</li> <li>3. 带状疱疹ワクチン接種、50歳からの費用助成</li> <li>4. 地域の防災力強化を</li> <li>5. 消防団活動にドローン活用を</li> </ol> | 濱田百合子 | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 生活保護扶助費</li> <li>2. 香北町のまちづくり</li> <li>3. 交通弱者への支援を</li> <li>4. 耕作放棄地等への手立てを</li> </ol>                           |
| 山崎 晃子 | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 物部町の振興策</li> <li>2. 障がい者の「親なきあと」</li> <li>3. 身寄りのない高齢者支援</li> <li>4. 介護保険制度</li> </ol>                                                       | 舟谷 千幸 | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 市立一般廃棄物処理場へ至る市道の整備</li> <li>2. 児童クラブにおける夏休み昼食提供</li> <li>3. 訪問介護事業所の人材確保</li> </ol>                               |
| 山崎龍太郎 | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 特定エリアでの建築・土地利用の推進</li> <li>2. 会計年度任用職員</li> <li>3. 副業人材マッチング支援事業</li> <li>4. 副市長人事</li> </ol>                                                | 公文 直樹 | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 総合評価落札方式導入の検討状況は</li> <li>2. 森林資源の活用促進を</li> <li>3. 義務教育における平和教育</li> <li>4. 児童・生徒の安全な学習環境の確保等</li> </ol>         |
| 笹岡 優  | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 地域自治会の強化は喫緊の課題</li> <li>2. 新たな防災気象情報への対応は</li> <li>3. 学びを保障する交通安全対策を</li> <li>4. 積極的な空き家活用策の推進を</li> <li>5. 財政の健全化判断と単年度財政状況</li> </ol>      | 西山 潤  | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 市民の歯と口の健康を守る取り組みを</li> <li>2. 中山間地域に具体的な振興策を</li> <li>3. 自主防災組織の声に応える防災対策の推進を</li> <li>4. 体育館へのエアコン設置を</li> </ol> |
|       |                                                                                                                                                                                        | 西村 剛治 | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 香美市の「教育」の現在地</li> <li>2. 「放課後こども教室」の在り方</li> <li>3. 香美市の情報発信とプロモーション</li> <li>4. 香北町のシンボルと未来のまちづくり</li> </ol>     |



香美市の登録農地

農業センサスによるこの5年間の個人農家の減少数は24万経営体を超え、総数で100万経営体を割り込んだ。維持管理をされているように見えても、引



森田雄介  
(日本共産党)



一般質問の様子はこちらからご覧いただけます。

## Q 農業者へのあっせん推進は A 多方面を視野に考えていく

目的に平成20年から制度が始まった。制度が始まったところにはそれなりの実績はあったが、農業者の減少や高齢化により、契約に至らない農地が増えているのが実情だ。

問 新規就農者や事業拡大を検討している農業者へのあっせん推進計画は。

農業委員会事務局長

具体的なあっせんに関する改革計画は持ち合わせていない。香美市の農地の土質に興味

を持ち、有機栽培に取り組もうとしている方や、成分の抽出用や加工用の食材として農業への参入を計画している企業からの問い合わせがあった。

問 本市ホームページにある農地のあっせん情報提供の経緯と、運用実績の評価は。

農業委員会事務局長

農地の有効活用と耕作放棄地の発生防止を

## Q 学生とまちづくりの協議を A 進めていくことは可能

高知工科大学の学生およそ2千人弱が本市に在住しており、それぞれ少なからず住民と接点が生まれている。

問 昨年6月、工科大学は地域イノベーション共創機構を創設し、本市との連携協定を結び直した。取り組みを具体的に聞く。

地域創生課長 市と工科大学との相互連携をさらに発展、深化させるため、令和7年6月5日に新たな協定を締結した。これを機に、工科大学との連携を推進すべく、令和7年度は新しい連携事業4件と、「香美市・高知工科大学連携協議会」に2つの専門委員会を設置し、取り組みを進めている。



高知工科大学地域・文化交流施設 Cross Square

問 本市の高知工科大学地域活動奨励事業費補助金の狙いと実績は。

地域創生課長 当該補助金は、工科大学と連携し、地域振興を図るため、平成22年度から制度化されている。新型コロナウイルス感染症が落ち着いた令和5年度以降は、学生団体や大学における地域・文化交流施設運営事業等に活用されている。

問 山口市宇部市は、昨年度から「日本一学生が活躍するまちづくり事業」として、学生の提言をまちづくりを生かそうとしている。本市でも、学生とまちづくりについて協議する場を設けては。

市長 大学祭や学生団体による地域活動などが実施されているが、こうした地域貢献活動は、十分認知されておらず、情報発信の見直しが必要だと考えている。

地域創生課長 工科大学の専門的な知見を生かし、地域課題の解決案を検討する場を連携事業の中で進めていくことは可能である。

問 工科大学ができて来年で30年になる。今以上に学生と住民の接点を広げる取り組みを期待したいが見解は。

市長 大学祭や学生団体による地域活動などが実施されているが、こうした地域貢献活動は、十分認知されておらず、情報発信の見直しが必要だと考えている。今後も大学生向けの補助制度を継続していく。

建設課長 閉庁時は宿直または日直が電話を受ける体制をとっている。住民から市役所代表電話へ通報があった場合、まずは宿直または日直が受け付けしたのち、直ちに建設課の

梅雨入りし、市道や県道の破損が懸念される。  
問 中山間地域において、道路をふさぐような倒木や斜面崩落の連絡は、地域住民からの通報が多いと思われるが、休日や夜間の連絡先はどのようになっているか。



市道への倒木（香北町）



有光 収三  
(自由民主クラブ)



一般質問の様子はこちらからご覧いただけます。

## Q 被災状況把握の連絡体制は A スマホの専用アプリを導入

職員へ連絡が入る仕組みとなっている。連絡を受けた職員が現場状況を確認し、通行止めや業者に応急復旧の指示を行うなどの対応をしている。

問 行政連絡会で連絡先の周知を図ることはできないか。  
建設課長 現在のところ

ろ行政連絡会での周知は行っていないため、今後は周知を行っていく。

問 早期の復旧には、災害発生箇所の正確な位置情報と被災規模の把握が必須である。スマートフォンなどを活用した被災状況把握のための連絡体制は検討できないか。  
建設課長 職員が現場でスマートフォンを活用し、地図上で被害状況や現場写真をリアルタイムで管理・共有できる専用アプリを導入している。これにより、課内の職員間での情報共有が可能となっている。

今後、先進自治体の事例などを参考に研究を進めていきたいと考えている。

## Q 香北分館のあるべき姿は A 閲覧スペースの確保が課題

昨年4月に香美市立図書館香北分館に関する要望書を提出してから1年が経過した。

問 これまでの協議経過はどうであったか。  
「生涯学習支援都市」を掲げる本市にとって図書館の果たす役割は大きいと考える。

市長 やなせたかし記念アンパンマンミュージアム振興財団からは、新たなアンパンマン図書館を建設するという話はなく、進展していない。市としては、美良布保育園建設検討委員会の最終報告を待ち、香北分館のスペースを拡大すべく取り組む。

問 子どもから大人まで地域住民が本に親しみ、集い、学びあうことができる香北分館の



香美市立図書館 香北分館

あるべき姿について、教育長の見解を問う。

教育長 香北分館は、現在蔵書の約半数が書庫にあり、閲覧スペース不足の状況にある。図書館は本来誰もが等しく情報にアクセスし、自己研さんや課題解決を図ることができる「知の拠点」であって、住民の身近な場所であるべきである。そのため、現在の閲覧スペース不足を解消し、蔵書の開架率を高め、ゆとりある閲覧スペースを確保していくことが今後の課題であると認識している。

**Q** 带状疱疹、50歳から助成を

**A** 現在のところ考えていない



中平 麻衣  
(自由民主クラブ)



一般質問の様子はこちらからご覧いただけます。

带状疱疹ワクチンの定期接種は65歳からとなっているが、带状疱疹は50代から発症率が増加し、80歳までに3人に1人が経験すると言われている。

**問** 令和7年度の带状疱疹予防接種の定期接種の実施状況は。

**健康推進課長** 令和7年度の対象者数は2045人。接種者数は生ワクチン239人、組

発症による社会的な損失は大きく、市として予防に力を入れることの価値は高い。

**問** 本市の50～64歳の人口は。

**健康推進課長** 令和8年4月1日現在、4345人である。



み換えワクチン2回終了404人、接種率は31・44%、接種費用は1308万8611円である。

**問** 50～64歳の市民に助成した場合の費用は。

**健康推進課長** 予防効果

果が長く続く組み換えワクチン接種費用を助成するとして、接種率を定期接種の半分の15%と仮定し、自己負担額を7千円とすると、

1819万8054円が必要額である。

**問** 過去3年度分の予防接種費用の予算額および不用額は。

**健康推進課長** 令和5年度予算額6485万8千円、不用額359万493円。令和6年度予算額1億61万9千円、不用額1028万5234円。令和7年度予算額1億1381万円、不用額1678万7741円である。

**問** 佐川町や本山町のように、本市でも50～64歳の市民への任意予防接種費用の助成の検討を。

**健康推進課長** 現在のところ任意接種の助成は考えていない。

**Q** 救助力を高める訓練は

**A** 実施に向けて検討する

**問** 地域の自主防災会、消防団、行政が連携して実際の非常事態を想定した訓練を行うことは可能か。

**防災対策課長** 各組織間の情報共有を強化し、顔の見える関係を築くことで、将来的な合同訓練の実現に向けた体制づくりを段階的に進める。

**問** 地震などの有事の際、倒壊家屋からの救助は消防団に求められることの一つであるが、



水消火器を用いた訓練

訓練を繰り返してないといえることではない。消火訓練以外に、災害時の地域の救助力を高めるための訓練の実施は。

**消防長** 過去にチェー

ンソー、エンジンカッターおよびジャッキ等を用いた訓練を行った実績がある。まずは団員がどのような訓練を希望しているかを把握し、実施に向けて検討する。

**問** 訓練内容については、消防団からも意見をお願いしたい。

**市長** 消防団員の皆さ

まには「自分たちが住む地域を自分たちで守る」という意欲を持って活動していただいており感謝している。市として、他地域の訓練内容を研究し、一緒に

**問** 「消防団の力向上モデル事業」や「自主防災組織等活性化推進事業」の活用は。

**防災対策課長** 消防団と自主防災組織の連携強化に向け、担当課が連携して訓練や補助事業の活用について具体的に検討する。

## Q 物部支所の果たす役割は

A 役割は重要である



山崎 晃子  
(無会派)



一般質問の様子はこちらからご覧いただけます。

**問** 物部町の人口減は顕著で、集落維持にも影響が出ている。この間の状況から「合併して良かったのか、合併のメリットはなかった」との思いを聞く。合併後の物部町の現状や、住民の声、思いの受け止めは。

**市長** 小学校の存続が何よりも重要であり、教育委員会とも連携し最優先で取り組む。

**問** 物部地域の活性化について、具体的な取

**市長** 「合併のメリットはなかった」という声を重く受け止めている。物部町の再生に向け、あらゆる取り組みを加速化させる。



香美市役所 物部支所

**問** 市民と共に創るまちづくりを実践していくために、まずは物部町の方々の思いや意見を聞き、住民参画による物部町の振興計画を策定しては。

**物部支所長** 第3次香美市振興計画は、市民の皆さまからのご意見を踏まえながら策定中である。物部地域の厳しい状況を認識し、振興計画と実施計画の中で実情に応じた施策を位置付けていく。市全体の振興計画の中で対応することが効果的と考えている。

**問** 物部地域の活性化、まちづくりには、物部支所の果たす役割が大きいと思われるが見解を。

**物部支所長** 物部地域の活性化に支所が果たす役割は重要である。主管課と連携し大栃小・中学校の児童・生徒数確保や移住定住に取り組む。

また、当面人口減少が避けられない中、公共施設の集約化や地域サービスの維持にも粘り強く取り組む。

**問** 大栃小・中学校は、小規模校ならではの教育、そして、まちづくりの拠点にもなっている。現状認識と今後について見解を。

**教育長** 大栃小・中学校の存続は、教育環境を守るという意味合いにとどまらず、物部地域の維持や活性化においても極めて重要であると考えている。今後は、地域の皆さまのご理解を前提としながら、小中一貫教育等の方向性についても検討に入りたい。

**Q** ヘルパーなり手不足支援策は

**A** 県や近隣自治体と連携

訪問介護事業者は、

職員の高齢化、なり手不足、介護報酬引き下げで大変厳しい運営状況にある。

**問** 介護報酬改定後の影響調査を令和6年12月に実施しているが、その後の状況把握は。

**高齢介護課長** 本年2月、市内の4事業所に対し利用者数と利用回数の減少要因についての聞き取り調査を行った。職員の退職や高齢化による受け入れ余力の減少、施設入所による利用者の減少が主な要因であった。

**問** 介護報酬引き下げ分の差額補助を行う考えは。

**高齢介護課長** 市独自の差額補助は考えていないが、市長会を通じて訪問介護の報酬改善等を国に要望している。また、県の補助金を活用し、中山間地域への介護サービス提供を支援している。



訪問中の血圧測定

**問** 「ヘルパーが高齢となり、いつまでできるか分からない」との切実な声を聞いた。現状認識と支援策は。

**高齢介護課長** ヘルパーの不足や高齢化が深刻であると認識している。市独自の事業は令和5年度以降活用実績がない。今後も県や近隣自治体と連携し、人材確保策を検討していく。



香長小学校周辺

## 市街化調整区域の新築は

**A** 小学校周辺で自己居住用が可能



山崎龍太郎  
(日本共産党)



一般質問の様子はこちらからご覧いただけます。

小学校等周辺および高知工科大学周辺の市街化調整区域での建築・土地利用の幅が広がり、居住等の選択肢が増えた。

**問** 問い合わせの現状や意見は。

**住宅政策課長** 34件の相談があり、うち土地所有者から8件、移住検討の相談が2件である。

**問** 民間企業等の動向は。

**住宅政策課長** 宿泊施設の経営2件、共同住宅1件の相談があった。

**問** 高知工科大学周辺の店舗建築の申請は。

**住宅政策課長** 高知県開発審査会での審議が必要であり、具体的な建築確認申請に至った案件はない。

**問** 小学校周辺の空き家の活用、新築に当たり一連の流れは。

**住宅政策課長** 今回の緩和により、地縁・血縁のない子育て世帯でも、小学校周辺（既存集落および周囲60m以内）であれば、土地の履歴に関わらず自己居住用の新築が可能となった。

新築についてはさまざまな個別の状況により判断が異なるため、窓口まで来ていただきたい。

**問** 規制緩和に伴う市道・水道整備等の公共事業の考え方は。

**住宅政策課長** 既存インフラが整った集落内に限定した運用であり、追加のインフラ整備を行わないことを前提としている。

**問** 建築等の対象外となるハザードエリアは。

**住宅政策課長** 高知県防災マップで示されて

いる土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域、洪水浸水想定区域である。

**問** 南国市の先行事例の調査、研究は。

**住宅政策課長** 本市の基準策定の参考としている。

**Q** 会計年度任用職員退職人数は

**A** 26人である

本年3月末日にて会計年度任用職員が20数人退職された。

**問** 退職人数の内訳は。

**総務課長** 退職となったのは26人で、うちフルタイムの方が7人、パートタイムの方が19人である。

**問** 退職された方が担っていた事務は正職員等が担当するが、通常事務に支障はないか。また、残業等の実態は。

| 各階ご案内<br>Floor Guide |                                                                   |
|----------------------|-------------------------------------------------------------------|
| 5F                   | 正副議長室<br>議場・委員室1・2・3<br>議会事務局 監査事務局                               |
| 4F                   | 建設課 住宅政策課<br>農工・観光課<br>農林課<br>地域産業再生協議会<br>農業委員会<br>会議室(401・402)  |
| 3F                   | 市長室 副市長室<br>総務課<br>財政課<br>地域創生課<br>地産地消推進委員会<br>会議室(301・302)      |
| 2F                   | 教育総務課<br>教育振興課<br>生涯学習課<br>生涯学習センター<br>福祉事務局<br>福祉推進課<br>会議室(201) |
| 1F                   | 市民交流課<br>総務課<br>総務課<br>会計課                                        |

本庁舎組織再編

**総務課長** 正職員や他の会計年度任用職員で業務を分担し、チームワークで乗り切っている状況。組織再編もあり、課によっては残業時間が増え、年休が取りづらい状況になっているとの報告もある。

**問** 4月以降、再度の任用を行わない旨はどのような手順で伝えたのか。

**総務課長** 昨年の財政班との当初予算査定後に、各課から本人にお伝えした。

**問** 市長は単年度収支を改善すべく人件費削減を行ったが、財政面からの分析は。

**問** 退職された方は長年にわたり、各課の事務を支え貢献いただいたと考える。見解を。

**財政課長** 業務内容や必要性を確認し予算査定を行った結果、要求額に対して、事業費で約7300万円、うち一般財源で約6500万円を減額した。人事院勧告に伴う給与改定の影響額を加味して令和7年度当初予算と比較すると、約4300万円の減少となった。

**総務課長** ベテランの方の中には正職員よりも業務内容を熟知されている方もおり、退職は本心に忍びなく心苦しい思いである。それぞれの部署において培ってこられた知識や経験は市政にとって本当に貴重な財産であり、長年にわたりご尽力いただいた皆さま方には深く感謝申し上げます。

防災対策課長 個別の避難計画「マイ・タイムライン」作成を支援するため、外部専門機関と連携し、出前講座などを通じて実効性の

新たな防災気象情報の運用が開始された。「レベル」「危険警報」など直感的な表現で分かりやすくなった。課題は、防災気象情報の意味と内容を浸透させることである。



笹岡 優  
(日本共産党)

**Q** 線状降水帯直前予測の対応は  
**A** 避難情報を迅速に発信する



一般質問の様子はこちらからご覧いただけます。

| 河川氾濫                       | 大雨             | 土砂災害             | 高潮             |
|----------------------------|----------------|------------------|----------------|
| 警戒レベル5相当<br>レベル5<br>氾濫特別警報 | レベル5<br>大雨特別警報 | レベル5<br>土砂災害特別警報 | レベル5<br>高潮特別警報 |
| 警戒レベル4相当<br>レベル4<br>氾濫危険警報 | レベル4<br>大雨危険警報 | レベル4<br>土砂災害危険警報 | レベル4<br>高潮危険警報 |
| 警戒レベル3相当<br>レベル3<br>氾濫警報   | レベル3<br>大雨警報   | レベル3<br>土砂災害警報   | レベル3<br>高潮警報   |
| 警戒レベル2<br>レベル2<br>氾濫注意報    | レベル2<br>大雨注意報  | レベル2<br>土砂災害注意報  | レベル2<br>高潮注意報  |
| 警戒レベル1<br>レベル1<br>早期注意情報   | 早期注意情報         |                  |                |

気象庁ホームページより

**問** 災害リスクの高い地域、学校等への周知

あるきめ細やかな支援体制の構築に努める。

**問** 物部川の河口9キロ地点には決壊する危険性がある。住民への周知徹底と避難をどう進めるのか。

**市長** 気象庁との連携を密にして、空振りを

**問** 物部川は「洪水予報河川」に位置付けられ、線状降水帯発生2〜3時間前の「直前予測」が速報されるが対応策は。

**防災対策課長** 関係機関と連携し情報を精査した上で、防災行政無線や公式LINEなど多様な手段を活用し、危険度に応じた避難情報を迅速に発信する。

**問** 物部川は「洪水予報河川」に位置付けられ、線状降水帯発生2〜3時間前の「直前予測」が速報されるが対応策は。

**児童・生徒・学生の学びを保障する通学安全対策は、日々努力する必要がある。令和3年、議会として知事宛てに国道195号の安全対策を求めている。**

と避難行動の手だては。教育長 学校現場での災害リスク評価と避難行動の周知徹底については、各校の立地条件等によるリスク状況の把握に努め、危機管理マニュアルの再点検を行い、緊急時の適切な避難行動につなげたい。

**Q** 国道195号の安全対策を  
**A** 中央東土木事務所が進めている

恐れずに、安全に避難できるタイミングで、避難情報を出していく。

**問** 雪ヶ峰城跡入り口の角部分を斜めに撤去し、安全に通れる対策を。

**建設課長** 当該箇所は下り坂で自転車のスピードが出やすく、車道へはみ出て通る可能性が高いことは認識している。用地の制約があるが、引き続き要望を行う。

**問** 雪ヶ峰城跡入り口の角部分を斜めに撤去し、安全に通れる対策を。

**問** 香我美橋に自転車歩行者専用橋の設置を。

**問** 児童の歩道橋往来時の自転車等との接触事故を防ぐ安全対策を。

**問** 高低差がありスピードが出る。海抜標記の看板を設置しては。



歩道橋降り口の狭い歩道

Q 各地区公民館の改善を

A できるだけ整備を進める



村田 珠美  
(自由民主クラブ)



一般質問の様子はこちらからご覧いただけます。

問 地区公民館の所管数は。

生涯学習振興課長 土佐山田地区が9館、香北地区が1館、物部地区が1館、合計11館である。

問 そのなかで、避難所指定となっている公



香長地区公民館トイレ

生涯学習振興課長 施設設備については、市

問 避難所指定公民館の備品購入は、各自治会が負担するのか。

生涯学習振興課長 6館が避難所に指定されている。

民館の数は。

が管理・整備を行っている。各地区公民館が必要なもの、市の予算の範囲内で購入・管理し、地域の実情に応じた運営を行っており、管理者等からの要望について、連携しながら対応を検討している。

問 香長地区公民館の机、椅子が老朽化している。交換および押入れ等の改修を。

生涯学習振興課長 机、椅子の更新や収納環境の改善については、管理者と連携・協議し対応したい。他の施設整備との兼ね合いや予算の制限もあるが、老朽化は地区公民館の共通課題となっており、状況を把握しながら検討したい。

問 トイレが男女兼用であり、便器の故障や旧式和式トイレで不便である。奥に改修可能なスペースもあり、避難所でもあるので男女

別トイレに改修を。生涯学習振興課長 直ちに対応することは難しいが、緊急性・優先度を踏まえながら安心して利用できるよう検討したい。

問 今年の水泳授業の安全対策等の協議内容は。

問 避難所指定されている公民館は大切な地域の拠点である。各地区公民館に聞き取り調査等を行い、有事に備えて順番に各地区公民館を改善できないか。

生涯学習振興課長 検討していきたい。

問 地区公民館について市長の見解は。

市長 地区公民館は、地域活動や災害時の拠点であり重要な施設と認識している。できる限りの整備を進める。

問 各学校のプールの老朽化が心配される。現状は。

教育振興課長 築後40年を超えているものが4校、30年を超えているものが4校である。

Q 夏休みのプール開放は

A 総合的に判断し中止とした

問 紫外線防止対策や猛暑対策の検討をしていると思われるが、プ

問 水泳インストラクターの配置と、毎回、泳力指導をしているのか。

教育振興課長 水泳授業は原則として教員が指導を行っており、毎回の授業に外部インストラクターは配置していない。

問 昨年度は夏休みのプール開放が中止となった。今年度の開放に向けての協議内容は。

教育振興課長 学校長の意見や近隣市町村の動向を踏まえ、PTAに過度な負担を求めることとなる現状や、児童の安全確保を最優先とすべき観点から総合的に判断した結果、今年度のプール開放は中止とした。



小学校プールの遮光ネット

第4次香美市行政改革大綱



令和5年4月  
香美市

第4次香美市行政改革大綱

**問** 香南市の集中改革プランの取り組みについての見解は。

**市長** 香南市の行政改革には、非常に注目している。香美市も同じ時に旧3町村が合併し

**問** やなせたかし記念館アンパンマンミュージアムはそう遠くない

ており、厳しい財政状況は同様であるとの認識である。



山崎 眞幹  
(無会派)



一般質問の様子はこちらからご覧いただけます。

**Q** 香南市の集中改革プランは非常に注目している

時期に補修や改修、やがては建て替えの検討が必要な時期が来る。やなせたかし記念館アンパンマンミュージアム振興財団への譲渡を、行政改革の一環として検討してはどうか。

**市長** 今後の施設の維持管理費や、将来的な建て替え費用を考えた時には、香美市民の税金だけでは到底賄えないと考えている。そこで、香美市が所有する施設を全て財団に無償譲渡し、その代わりに、入場料収入を全て財団が受け取る形を取ることは、非常に有効な手段である。一方で、行政改革として直ちに取組むところまでは考えていない。

**問** 大規模保育園の民営化の検討を、南国市、香南市の例に倣って行うために、第5次計画に組み入れてはどうか。

**市長** 大規模保育園の民営化については、受

け皿となる運営者をどうやって選ぶのか、また現在の保育士の処遇をどうするかなど、検討課題が多くある。まずは民営化のメリット・デメリットを明らかにすると同時に、先行している南国市や香南市の状況を勉強し、今後の方針を検討していく。

**Q** 奥物部ふるさと物産館運営は来年度中に法人化予定

**問** 奥物部ふるさと物産館は、1年以上経過した現在でも任意団体での運営となっている。受託者は公金を扱う団体として、法人化による透明性の高い経営の実現は喫緊の課題であると考えているが、現状は。

**物部支所長** 来年度中に法人化する予定で、現在、専門家等と相談

の上、準備を行っている。と聞いている。

**問** 令和8年度収支予算書のレストラン部門の売り上げ見込みが少ない。レストラン部門の赤字を改善するためにも、この部門での売り上げ増を目指すべきではないか。

**物部支所長** 本年度計画の年間利用者数が増えていないのは、当初計画との整合性を重視しているためである。指定管理者からは計画以上を目指すと言っている。



奥物部ふるさと物産館 2階フリースペース



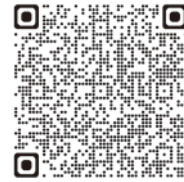
愛と勇気の物語交流館「かみんか」

香北町のまちづくりについて聞く。

**問** 美良布保育園建設事業は、過疎債の期限



濱田百合子  
(日本共産党)



一般質問の様子はここからご覧いただけます。

**Q** 「かみんか」開館へ対応を話し合いながら進めていく

が令和12年度末であるため、移転する場合、9月ごろまでに候補地を決める必要がある。期限があるならなぜすぐに建設用地確保に動かなかったのか。

**市長** 香美市の方針として「移転建設」は選択肢としてなかった。理由は、令和2年8月にスタートした美良布保育園建設検討委員会

によってあらゆる案が議論され、さらに私が市長就任後に提案した移転建設案を却下して、令和4年9月に現地建て替え案が決まったからである。

**問** 香美市立図書館香北分館について、市民

団体が、2688人の署名を市長に提出し、1年以上経過した。また市民の声をまとめ「香北の図書館未来スケッチ」を作成し市長に提出した。市民は図書館の充実を願っている。すぐにでも調査検討を。

**市長** 美良布保育園建設検討委員会の最終報告を待ち、香北分館のスペースを拡大すべく、取り組む。

**問** 「かみんか」の開館から5月末までの来館者は1289人であった。今後、正午から午後1時の開館ができるように対応を。

**香北支所長** 地域住民や協力してくれる方々の意見を聞く窓口として香北支所の体制を整え、商工観光課や香美市観光協会などと話し合いながら「かみんか」の運営を進めていきたい。

**Q** 耕作放棄地再生団体へ支援を

**A** 国の交付金を交付予定である

耕作放棄地等の解消に取り組んでいる団体がある。素晴らしい農業の力を生かす人材が

必要である。

**問** 耕作放棄地を再生させ、仕事として成り立つような仕組みが作れないか。

**農業委員会事務局長** 農地の権利者には耕作義務があり、その責任において管理が行われるべきである。

**問** このような活動をしている団体へ支援は、

**農林課長** 適用対象となる国の交付金を交付予定である。

**問** 地域おこし協力隊や地域支援員による人

材確保は。

**市長** 耕作放棄地を解消するために、他の自治体で地域おこし協力隊を活用した事業があれば、参考にする。

**問** 地域循環型の農業への見解を。

**市長** 学校給食へ、地元産の米や野菜をできるだけ取り入れられるよう、今後とも努力する。



子どもたちと田植え（香北町）

建設課長 当該市道は一般廃棄物処理場を利用される市民の方々や、その先に位置する民間墓地の利用者にとって必要な道路である。

現在の交通状況については、月に一度の粗大ごみ収集日の混雑時



市道手打谷線（土佐山田町）

市道手打谷線は、主に土佐山田町の粗大ごみを持ち込む市民や、その先にある民間の墓地公園を訪れる方々も利用する道路である。

問 道幅が狭く車両同士の違いが難しい箇所がある。交通状況についての認識は。

車両のすれ違いが困難な箇所があることは認識している。

問 道路の拡張や待避所整備について、これまでどのような検討が

問 この道路を利用する方々の安全確保と利便性の向上のため、今後、部分的な道路の拡張や待避所を整備する



舟谷 千幸  
(公明党)



一般質問の様子はこちらからご覧いただけます。

## Q 廃棄物処理場への道路整備を部分的な拡張など対応する

されたのか。

建設課長 当該市道については、これまでカーブミラーの設置や路面補修など、通行の安全確保を優先して対応してきた。

抜本的な道路拡張等については、緊急性や居住性のある他の生活道路を優先的に進めてきた経緯があり、現時点では具体的な検討はしていない。

考えは。

建設課長 今後は、現地確認を行い、すれ違いが特に困難な箇所を特定した上で、部分的な道路拡張など、可能な箇所から対応する。

## Q 児童クラブ夏休み昼食提供は調査・研究を進めたい

問 児童クラブ利用の保護者から、夏休み昼食提供に関しての要望や意見は。

教育振興課長 現在のところ、特段の要望や意見は寄せられていない。

問 保護者のニーズを把握するためのアンケート調査を実施する考えは。

教育振興課長 当面は昼食に関するアンケート調査の実施は予定していない。今後、保護者から具体的な要望や

相談があれば、必要に応じて協議する。

問 一昨年、県の配食サービス実証事業が、楠目小学校児童クラブで実施された。成果や課題は。

教育振興課長 利用した保護者からは一定の評価をいただいた。一方で、実施体制や決済方法等、いくつかの課題があることも明らかになった。



片地小学校児童クラブ

ていない。今後、保護者から一定の要望があれば、必要に応じて協議する。

問 保護者負担軽減と児童の食の確保の観点から、夏休み昼食提供について調査・研究を進める考えは。

教育振興課長 保護者の負担軽減と児童の食の充実は重要な課題であると認識している。保護者のニーズを踏まえながら、実施の可能性や課題について、調査・研究を進めていきたい。

## お詫びと訂正

議会だより第81号(前号)の21ページ、舟谷議員質問のうち

「日本教育工学会」は「日本教育工学協会」の誤りでした。

ここに深くお詫びし、訂正させていただきます。

**木質系新素材の開発・普及－改質リグニン－** 2024年2月時点

○日本固有の樹種であり資源量が豊富なスギから、加工性が高く、熱に強い、改質リグニンの製造が可能。  
○改質リグニンを様々な材料と複合化することで、多種多様な製品材料として利用でき、化石資源由来プラスチックの代替が可能。

**改質リグニンとは**

- 日本固有樹種であるスギのチップに、ポリエチレングリコール（PEG）を混ぜて加熱し、リグニンを改質・抽出した物質
- リグニンは、樹木の種類や生育環境、部位等により性質がバラバラなため工業製品向け原料化は世界的にも困難であったが、森林総合研究所が代表となった産学官連携により、性質のバラツキが少ないスギを対象に「改質リグニン」の抽出技術を開発  
※内閣府 戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）『次世代農林水産業創造技術』（H26～H30）
- 加工性が高く、熱に強い
- 様々な材料と複合化することで、高耐熱性プラスチックや繊維強化プラスチック（FRP）等、様々な製品原料として利用が可能

**技術・製品開発の現状**

- 林野庁補助（R1補正）で、茨城県常陸太田市内に実証プラント（生産能力100トン/年）を整備（R3年6月竣工）
- 現在、試験生産したサンプルを素材メーカーに提供し、様々な複合素材を開発中
- 社会実装には、大量生産技術の確立、優位性のある用途開発、環境適合性の評価等を進める必要

**改質リグニンをを用いた試作品**

改質リグニン（粉末）  
電子基板  
既存の電子基板より熱を帯びた際の寸法安定性がよく従来の約3割のコストで製造可能  
写真：産総研

自動車ステアリング  
ステアリング取付部材に改質リグニンを含有写真：株式会社天童木工、物質・材料研究機構、豊田合成株式会社

硬さ／柔らかさをコントロール可能

林野庁ホームページより



公文直樹  
(自由民主クラブ)



一般質問の様子はこちらからご覧いただけます。

**Q 改質リグニンの普及は**  
**A 勉強させていただく**

**問** 香南市の竹材加工会社がモウソウ竹を買い取っている。そこで、竹林所有者と小規模林業者をつなぐネットワーク構築は検討できないか。

**農林課長** 竹林の伐採希望者と林業者のマッチングは、需要が多くあれば検討すべきと考える。

**問** 石油由来のプラスチックやナフサの代替資源となる木質由来の「改質リグニン」は、杉チップから抽出可能で、さまざまな資材の原料となることから、今後に大きな可能性を持っている。

**林野庁**も協力して開発した新素材を社会に広く普及させるため、一般社団法人リグニンネットワークへ加入し、本市の豊富な杉資源や森林組合の高い施業技術を生かして普及促進計画に参画できないか。

**農林課長** 提案の件に

関して十分な知見を持ち合わせていないが、勉強させていただく。

**Q 今以上の平和教育を**  
**A 取り組みを進めたい**

大浜小学校5・6年生を連れて、広島県の実爆ドームや平和記念資料館へ平和学習に行ってきた。

世界各地で起こっている戦争や紛争により、日本も多大な影響を受けている今だからこそ、今まで以上の平和教育が求められる。

**問** 義務教育における平和教育の重要性について、教育長の考えは。

**また**、学習指導要領に定める段階的な指導のつとめた、小学校および中学校それぞれの基本姿勢や指導方法を問う。

**教育長** 平和教育は、今後の平和な世界の構

築や、人に優しい香美市の将来を構築する上でも、必要な教育の一つだと捉えている。今後の平和教育の取り組みにおいても平和の尊さを学び、人権尊重の価値観を育みたい。

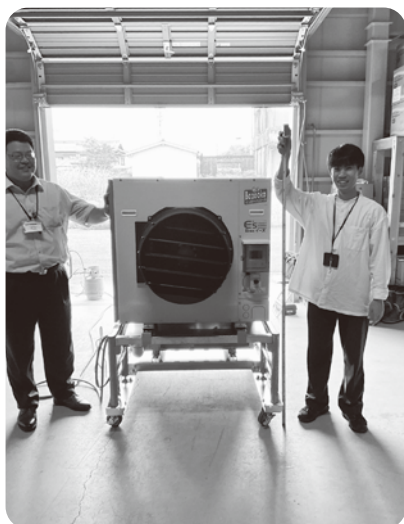
小学校学習指導要領では、社会科や総合的な学習の時間等において横断的に展開し、平和の尊さや国際理解、人権尊重の意識の育成が求められている。

また、中学校学習指導要領では、小学校の学びに加え、国際協調の重要性への理解や平和で持続可能な社会を形成する資質の育成が求められている。

今後においても、日本国憲法の精神や学習指導要領の趣旨にのっとり、平和の尊さ、命の尊厳、人類の幸福、国際理解等の取り組みを進めたい。



原爆ドーム（広島市）



移動式エアコン（南国市）

避難所としても利用される体育館へのエアコン設置は喫緊の課題である。

**問** 昨年度、3校をモデルにシミュレーションした結果と今後の計画は。

**教育振興課長** 空調方式および断熱効果、整備費ならびにランニングコストについて、比較検討を実施した。避難所としての活用も視野に入れた場合、ガス式空調と輻射パネルを



西山 潤  
(日本共産党)



一般質問の様子はこちらからご覧いただけます。

## Q 体育館へのエアコン設置は A 3地区で各1校整備予定

組み合わせた方式が、快適性および災害時の運用面において最も有効であるとの結論になった。市の方針としては、防災拠点としての機能を重視し、山田・香北・物部の各地区で1校を基本とし、当該方式による整備を進めることとした。予算化を含めた具体的な整備スケジュールは、今後、早期に着手できるように検討する。

**問** 移動式エアコンについて検討されたか。

**教育振興課長** 移動式エアコンも検討対象とした。設置費用が比較的安価で、短期間での導入が可能であり、児童・生徒の熱中症対策として有効な手段の一つであると考えている。

## Q ハザードマップ改訂版は A 来年度配布を開始

来年度配布を開始

市長は提案説明で「自主防災組織との連携を深め、きめ細かな対応ができるよう進めていく」と言われた。

**問** 過去3年間の診断・設計・工事の実績は。

**住宅政策課長** 耐震診断は、令和5年度78件、6年度168件、7年度67件。耐震改修設計は、令和5年度60件、6年度116件、7年度119件。耐震改修工事は、令和5年度58件、6年度79件、7年度84件である。

**問** 過去3年間の防災対策実施状況は。

**防災対策課長** 下表のとおり。

**問** 県は耐震診断を「2000年基準より前」に拡大した。本市で拡大する予定は。

**住宅政策課長** リスクの高い旧耐震基準の住宅を最優先に支援することが急務であるが、対象の拡大は県の動向

を注視し検討したい。

**問** さらなる広報活動により受付件数の増加を図るべきでは。

**住宅政策課長** 市広報誌や空き家相談会等で周知したい。

**問** 香美市ハザードマップ改訂版の発行予定は。また改訂点は。

**防災対策課長** 来年度に配布を開始する新マップは、市全域の冊子型から居住区域に特化した形式に変更し利便性を高める。

(単位：件)

| 防災対策実施状況                        | R5 | R6 | R7 |
|---------------------------------|----|----|----|
| ブロック塀等対策補助金                     | 13 | 22 | 17 |
| 家具転倒防止等対策費補助金<br>※ガラス飛散防止フィルム含む | 20 | 32 | 16 |
| 家具転倒防止金具等取付事業                   | 8  | 8  | 13 |
| 老朽住宅除却事業補助金                     | 29 | 33 | 20 |
| 災害用トイレ等購入費補助金                   | 18 | 56 | 56 |
| 防災士資格取得補助金                      | 4  | 7  | 6  |

防災対策実施状況（令和5～7年度）

**問** 自主防災会が個人宅を訪問して個人情報取得することは可能か。

**防災対策課長** 本人同意・目的限定・管理徹底の3条件を守ることが可能である。

**問** 各自主防災会と細かな対応策を事前協議していくべきでは。

**防災対策課長** 自主防災組織との協議や、補助金活用による地域主体の備蓄整備を積極的に支援していく。



小学校のプール

## Q プールの維持・改修は

A 抜本的な改修計画を検討する



西村 剛 治  
(無会派)



一般質問の様子はこちらからご覧いただけます。

問 今年度から市内全小学校で「成績評価の2期制」が導入された

が、唐突な印象を受ける。導入に至った経緯は。

教育長 1学期末、2学期末に当たる7月と12月に、学期末の授業まとめや復習の時間を十分に確保し、児童の学力を定着させる目的がある。

問 どのような協議を行い決定に至ったか。

教育長 成績評価2期制については、学校現場の声を受け、校長会で協議した結果、導入に至った。

問 保護者やPTAから意見聴取を行ったか。また保護者への説明と周知は十分と考えるか。

教育長 保護者の皆さまからの意見聴取までは行っており、今後この制度の趣旨をご理解いただけるよう周知に努めたい。またこの制度が効果を生むように取り組みを進めたい。

問 夏休みプール開放が中止となったが、決定前に想定委託先であ

る各PTAとの意見交換は行ったのか。

教育振興課長 多くの懸念事項があるため、各学校においてPTAとの実質的な意見交換を進めることが困難であると判断し、PTAとの意見交換は行わなかった。

問 次年度以降、夏休みプール開放を再開するために必要な条件は。

教育振興課長 児童の安全確保を最優先とし、監視体制、施設および水質管理、熱中症対策など安全管理上の要件が十分に満たされる必要がある。

問 日よけ設備の設置等、学校プールの維持・改修計画が必要である。見解を。

教育振興課長 緊急度、優先度を踏まえながら、日よけの設置なども含む抜本的な改修計画を検討していきたい。

## Q ポスト「あんぱん」担う課は

A 商工観光課と香北支所である



物部川の景観

交流館「かみんか」で観光客のおもてなしをするのは、香北支所という役割分担である。

問 自治体間で競争が激しくなる中、庁内に情報発信、プロモーション、ブランディングを一元的に行うPR部門が必要と考えるが。

市長 検討する。

問 市長のシティープロモーションは、明確なプロモーション計画に基づいて実行を。

市長 努力する。

香美市はブランディングやプロモーションが非常に弱い。朝ドラ「あんぱん」の好機を生かす戦略と推進体制を問う。

問 4月の組織再編で「あんぱん室」がなくなった。ポスト「あんぱん」を担うのは。

市長 観光客の誘客を担うのは商工観光課であり、愛と勇気の物語